

区内マラソンの検討について

【検討案】

区内全域コース

(案1) 区内全域に中継スポット(スカイツリー、ユートリヤ、江戸NOREN、向島百花園、すみだ北斎美術館)を設置。総合運動場がゴール。各自が好きなスタート地点で始められるイベント。各中継スポットでは、すみだならではの食や、伝統工芸、鑑賞ができるなどの特典を付ける。

(案2) スタート地点・時間は自由。ゴールはある程度の時間を決め、総合運動場にゴールする。走りながら「すみだの魅力」の写真を撮り、ハッシュタグをつけて発信。「いいね!」の数で順位付けするランニングイベント。区内飲食店に、無料又は少額で商品を提供できるお店を募集し、参加者が商品等をSNS発信することで飲食店やまちの宣伝になる。安く飲食できることで集客が見込める。

総合運動場+東白鬚公園コース

(案1)「フリマラソン(フリーマーケット+マラソン)」

総合運動場や公園内にフリーマーケット会場を設け、マラソンと同時開催する。参加者には、フリーマーケットで使用できる特典(500円券など)をつけ、地域の方々が楽しめるランニングイベント。

(案2)「地域交流型ランニングイベント」

高齢者・障害者・子どもなどが1チームになり、たすきをつなぐ地域交流型イベント。

(案3)「福男・福女選びランニングイベント」

お正月に「福男・福女」を選ぶランニングイベント。ゴールの総合運動場では、参加者全員で新年の祝い酒を飲む。総合運動場内のセミナーハウスでお風呂にも入れる。

(案4)「仮装ランニングイベント」

ハロウィンと同時開催し、仮装を見て投票などで順位付け。

(案5)「防災ランニングイベント」

高齢者と子どもがチームを組み、リレー形式で、体力のある子どもはランを担当し、高齢者は水消火器で消火のスピードや防災クイズを担当する。ゴールは、チーム全員で手をつないでゴールし、世代間の交流を図る。

(案6)「アートマラソン」

参加者は、アートの一部となるゼッケンでミニマラソンに参加。総合運動場にゴールしたら、自分のゼッケンを指定の位置に設置。全員が設置すると、葛飾北斎の絵等、インパクトのあるアートにすることで広報ネタにもなる。ドローンで上空から写真を撮り、大型スクリーン等を設置して完成した絵を映し、参加者全員で共有する。ソラマチのイベント



を絡めることができれば、ソラマチ 4 階スカイアリーナの大画面スクリーンに映し出すことも可能か。

2,000 人参加しないと完成しない！など、みんなで一つのアートを作ることを目標に。

(案7)「町会・自治会対抗ランニングイベント」

東白鬚公園内にある野球場とテニスコートも活用して、マラソンイベントと同時にマラソン以外の種目を開催して、順位を点数化するなどを競うイベント。

(案8)「グルメイベント+マラソン大会」

グルメフェスティバルのようなお祭りイベントを同時開催することでマラソン大会の盛り上がりを図る。また、マラソン大会前に著名人による走り方教室を実施して大会のときに意識しながら走ってもらう。(高齢者 日頃の健康増進を意識した走り方、子ども 速く走れる方法等)

(案9)「パラ駅伝」

障害者の方と健常者等でタスキをつなぐ。

(参考) パラ駅伝 in TOKYO 2018 参照

その他

- ・スポーツボランティアの募集・活用。大会後もレガシーとして残す。
- ・平成31年度に東白鬚公園内のため池とマンホールトイレの工事が予定されている。
- ・スポーツ・学習課では、平成30年度にソラマチおよび文化放送と年4回、後援または共催でスポーツイベントを実施する予定。マラソン大会と絡めることができれば、文化放送によるイベントの事前告知などができ、集客が期待できる。